

業務案内

船舶関係の火災試験に関するご紹介

はじめに

この度、当法人は2025年4月より船舶関係の火災試験（性能確認試験）の業務を開始しました。

当該試験は、火災時における船舶の安全性について定めた「火災試験方法の適用に関する国際コード（International Code for Application of Fire Test Procedures）（以下、FTP Codeという）」に準拠しています。

試験規格の概要と当法人での試験対応

FTP Codeは本文と付録部分から構成されており、付録部分において火災試験方法が示されています。

具体的には図-1に示すPart 1～Part 11の試験項目で区分されており、船舶内の躯体部分や内装で用いられる材料の火災試験方法が列挙されています。

Part 3、Part 4およびPart 11に規定される船内の仕切り壁や防火窓を対象とした火災試験では、大型壁炉（写真-1参照）を用いることで、FTP Codeで規定された防火性能を有しているか確認することができます。さらに、Part 10で規定される各種内装用材料の発熱性及び煙発生量については、コーンカロリメータ（写真-2参照）を用いることで測定することが可能です。その他の試験区分についても導入に向けて準備を進めていく予定です。

まずはお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

試験研究センター 耐火部 防耐火構造・材料試験室

メール：小西 (ta-konishi@gbrc.or.jp)、

松田 (matsuda@gbrc.or.jp)

電話：072-760-5053



写真-1 大型壁炉 (Part 3,4対応)



写真-2 コーンカロリメータ (Part 10対応)

Part 1. 不燃性試験 (ISO1182)

Part 2. 煙・毒性試験 (ISO5659-2 及び ISO19702)

Part 3. A,B,F 級の仕切り壁の試験 (ISO834-1)

Part 4. 防火戸制御システムの試験 (ISO834-1)

Part 5. 表面燃焼性試験 (ISO1716) (ISO5658-2)

Part 6. 空白

Part 7. 鉛直に支持される織物及びフィルムの試験
(IMO 決議 A.471 (XII) 及び A.563 (14))

Part 8. 布張り家具の試験 (IMO 決議 A.652 (16))

Part 9. 寝具類の試験 (IMO 決議 A.688 (17))

Part 10. 火災を制御する高速船用材料の試験
(ISO5660-1,2 及び ISO9705)

Part 11. 高速船の耐火仕切りの試験 (ISO834-1)
(IMO 決議 MSC.45 (65) 及び A.754 (18))

図-1 FTP Code (図中の赤枠は当法人が業務開始した試験項目)